

高原町議会から高原町長への報告及び提言書

令和8年5月15日

高原町長 丸山 裕次郎 殿

高原町議会議長 前原 淳一

「議員と語ろう会」実施報告及び町民の声を踏まえた提言について

常日頃より、町政の推進に御尽力いただき、深く敬意を表します。

さて、高原町議会では、町民の皆様との意見交換を通じて、町政の課題把握と政策提言につなげることを目的に、「議員と語ろう会」を下記のとおり実施いたしましたので、その概要を報告するとともに、町民の声を踏まえた提言を行います。

1. 実施概要

(1) 実施期間

令和8年4月20日（月）～4月23日（木）

(2) 実施場所

- ・元狭野小学校体育館
- ・元後川内小学校体育館
- ・元広原小学校体育館
- ・ほほえみ館 中研修室

(3) 参加者数

約90名

(4) 実施方法

参加者が気軽に、かつ一定の公平性をもって発言できるよう「サウンドカード」を活用し、円滑な意見交換を行った。

(5) テーマ

- ・これからの高原
- ・物価高騰による生活への影響
- ・暮らしの困りごと

2. 意見の整理と議会の対応

各会場において寄せられた意見のうち、「行政・地域への提言・要望」として重要と捉えたものについては、内容を精査の上、大きく13項目に整理・集約いたしました。

これらの項目については、令和8年6月開催予定の高原町議会定例会において、全議員で分担し、一般質問として町当局に対して質すこととしております。

また、地域課題や個別具体的な要望等については、各議員が地域代表としての役割を踏まえ、関係部署へ直接出向くなど、解決に向けた相談・提言を随時行ってまいります。

3. 町民の声の取り扱いについて

今回の語ろう会で寄せられた意見のうち、予算措置を要するものや、町当局と議会との対話等を通じて整理・検討すべき事項については、別添の「町民の声」として取りまとめしております。

別添の「町民の声」は、個別具体の回答を求めることを主目的とするものではありません。

町民が日常生活の中で感じている

- ・求めていること
- ・考えていること
- ・思っていること
- ・取り組んでほしいこと

といった率直な声として受け止めていただき、庁内において広く共有いただくことをお願いするものです。

4. 町への提言

町当局におかれましては、本報告及び別添の「町民の声」を踏まえ、次の点について積極的に御対応いただきますよう提言いたします。

(1) 町民の声の庁内共有と施策への反映

各部署において情報共有を図り、現行事業で対応可能なものについては速やかに反映すること。

(2) 新たな施策・事業への活用

中・長期的に検討すべき課題については、次年度以降の新規事業や施策立案に積極的に活用すること。

(3) 議会との連携強化

必要に応じて議会との対話の場を設け、町民の声を踏まえた実効性ある政策形成に努めること。

5. むすび

今回の取り組みを通じて、町民の皆様が抱える課題や期待を直接把握することができました。

議会としては、これらの声を真摯に受け止め、引き続き、町民福祉等の向上と持続可能なまちづくりに資するよう努めてまいります。

町当局におかれましても、本提言の趣旨を御理解いただき、町民の声を町政運営に積極的に反映されることを強く期待いたします。

テーマ1 これからの高原について

- ・スクールバスを高齢者や一般住民も利用できるよう、有効活用を検討してほしい。
- ・スクールバスのバス停表示を分かりやすく改善した方が良いのではないか。
- ・スクールバスの空き時間帯を、買い物や交流のための移動手段等として活用できないか。
- ・ふるさと納税をさらに積極的にPRし、財源確保(町の自立・自走)につなげてほしい。
- ・町内スポーツ大会等を充実させてほしい。
- ・町ホームページを充実させ、観光情報や地域情報を分かりやすく発信してほしい。
(町民向けに町内の観光スポット案内や旬な情報提供なども含めて)
- ・魅力あるイベントや体験型観光を創出し、観光客や移住者を呼び込んでほしい。
- ・国スポ・障スポに合わせて皇族の来町誘致を検討してほしい。
- ・神楽などの歴史的・文化的財産を積極的に活用・発信してほしい。
- ・若者が地元に残れるよう、雇用や交通利便性の向上を図ってほしい。
- ・工業団地へ魅力ある企業を誘致してほしい。
- ・高原町の自然の魅力を全国へ発信してほしい(必要に応じて民間の専門事業者・プロを活用しても良いのではないか。地方の農家はGWも牧草づくりや草刈り等を頑張っている姿等をマスメディア等でも発信してほしい。)
- ・学校跡地利用について早急に対応してほしい。スポーツ施設等としての活用も検討し

た方が良いのではないか。

- ・ デジタル化についていけない高齢者等への配慮を行ってほしい。（町内 AI などの巡回座談会等の開催）
- ・ 廃校跡地の利用について、例えば、プール横にサウナ整備、グラウンド等にキャンプ場、給食室跡を加工場整備するなどを検討してほしい。
- ・ 高原町の「水」を商品化し、収益化につなげてほしい。
- ・ 高原町オリジナルのTシャツやバッグ、缶バッジ等のグッズを町内でも販売を行ってほしい。
- ・ ボランティア活動参加者への特典制度を導入した方が良いのではないか。（缶バッジやシール等の参加記念品をプレゼントするなど）
- ・ 高原 IC へのスマートインターチェンジ導入等を検討してみてもどうか。
- ・ 地域おこし協力隊の活動効果や成果を分かりやすく発信してほしい。
- ・ 職員住宅（医師・教職員住宅等）の有効活用を検討してほしい。
- ・ 町議会では、議会だよりをもっとよく改善し、一般質問後の課題の追跡等も行ってもらいたい。
- ・ 気軽に利用できる飲食店を増やしてほしい。（駐車場整備も必要ではないか。）
- ・ 第1次産業のブランド力などを上げるなど、所得の向上対策を講じてほしい。
- ・ 病院改革や病院経営のあり方について、しっかり検討してほしい。
- ・ 医師確保対策として、町で医師育成してはどうか？経営改善等に外部専門人材の活用

も検討してみてもどうか。

- ・ 病院を存続させ、安定経営につなげてほしい。
- ・ 住民主体のまちづくりを推進し、地域での支え合いを支援してほしい。
- ・ 集客施設を整備してほしい。
- ・ 皇子原公園周辺の獣害対策を講じてほしい（ボランティアで植栽された花木も被害を受けている）。
- ・ 皇子原公園に遊具を増設してほしい。（廃校となった学校の遊具を皇子原公園へ移設できないか検討してほしい）
- ・ 水道料金について見直しを検討してほしい。（高いのではないか？）
- ・ 狭野地区にある小水力発電施設を他の地域でも設置してほしい。
- ・ 防災情報の確実な伝達のため、希望者する家庭には個別受信機設置してほしい（小林市を参考に）。
- ・ 防災上の観点からも役場新庁舎の建設をするべきではないか？（古くて耐震化がない）
- ・ 災害への不安を軽減するため、防災対策のさらなる充実を図ってほしい。

テーマ2 物価高騰による生活への影響について

- ・ 燃料費（灯油・電気・ガソリン）高騰への支援策を講じてほしい。
 - ・ 高齢者の医療費負担軽減策を検討してほしい。
 - ・ 住宅リフォーム補助制度を復活してほしい。
 - ・ 車両維持費や消耗品高騰への支援を検討してほしい。
 - ・ 輸入品不足による生活不便への対策を講じてほしい。
 - ・ 収入減少や農業継続困難への支援策を強化してほしい。
 - ・ 飼料・肥料・資材高騰による農業への影響対策を講じてほしい。
 - ・ 軽油免税制度について、対象拡大や改善を検討してほしい。
 - ・ コスト高に苦しむ農業従事者への支援を強化してほしい。
 - ・ 商品券ではなく、使いやすい現金支援も検討してほしい。
 - ・ 補助事業や支援制度を拡充してほしい。
 - ・ 町として物価高等により町民や事業者が困っている状況等を把握するアンケートや調査を行うべきではないか。
-

テーマ3 暮らしの困りごとについて

- ・ 免許返納後の移動手段対策を講じてほしい。
- ・ 乗り合いタクシーの乗降場所や予約方法を改善した方が良いのではないかと。（緊急時

にも利用しやすい交通手段としてなどの検討等も含め)

- ・ 乗り合いタクシーの停留所に「茶飲ん場」を入れてほしい。
- ・ 草刈り後の草木の廃棄場所を確保してほしい。
- ・ のら猫対策や地域猫活動への補助を実施してほしい。
- ・ 町道・国道の穴やくぼみ、消えた白線を早急に改善してほしい。
- ・ 火災時などの防災無線を聞き取りやすく改善してほしい。（※これも個別受信機の設置検討も兼ねて）

置検討も兼ねて)

- ・ 火災発生場所が分かるよう、防災無線を改善してほしい。（※これも個別受信機の設置検討も兼ねて）

置検討も兼ねて)

- ・ 町内のイベント情報が十分に共有されていない（情報の格差を感じないように配慮してほしい）。

- ・ 区長や地域活動の担い手不足への対策を講じてほしい。
- ・ 自治組織の再編を検討した方が良いのではないか。
- ・ 地区ごとに異なる区費について見直しを検討してほしい。
- ・ 空き家リフォーム支援や空き家バンク制度の充実など、空き家の有効利用対策を進め、移住促進を進めてほしい。

- ・ 耕作放棄地を増やさないため、農地集約化支援を進めてほしい。
- ・ 農業用水路へ蓋を設置してほしい。（広原千反の本線沿いの用水路）
- ・ 施設予約を簡略化し、利用しやすくしてほしい。

- ・インターネット予約が苦手な方への配慮をしてほしい。（スマホ教室・AI教室など）
- ・土曜保育時の弁当・おやつ対応を改善してほしい。
- ・おやつの持参による格差が生じないように、保育園側で提供してほしい。
- ・高齢化による農地荒廃や一人暮らし不安への対策を講じてほしい。
- ・県道414号の道路拡幅や安全対策を実施してほしい（道幅が狭く大型トラックの通行も多く、中学生等の自転車登下校時など危険を感じることもある）。
- ・獣害被害対策を強化してほしい。
- ・敬老会予算を確保してほしい。
- ・狭野神社周辺等から祓川地域までの夜間の街灯が不足している。
- ・昔の生活用具など貴重な資料として展示する場所などがあると良いのではないかと（養蚕の諸道具等）。
- ・役場職員の人事異動サイクルを見直した方が良いのではないかと。（短いスパンで異動してしまうと困る場合がある）
- ・子どもの勉強場所や居場所確保対策を促進してほしい。
- ・困っている住民を把握する仕組みを強化してほしい。
- ・公立保育園の閉園にあたっては、保護者や女性、次世代の声を反映してほしい。（保護者負担軽減につながる施策の展開等も含め）
- ・新入生用にプレゼントされる「机」の運用方法について、卒業時やクラス替え時の課題（持って移動・卒業時に持って帰るのは現実的なのか等）を整理してほしい。

- ・ 交通ルール改正（自転車の青切符制度など）について、子どもたちへ丁寧に指導してほしい。
- ・ 国や県の諸手続き（名義変更など）で難しい（ややこしい）ものがあるので、改善を図ってもらうよう国や県に提言を行ってほしい。
- ・ 町内の古民家をリフォームして低家賃で暮らせるなどの仕組みづくりをすべき。
- ・ JR 沿線や高速道路沿いの草木などの繁茂により通行に支障をきたす場所等（見通しが悪い等も含め）があるので危ない。（関連企業に直接お願いしても対応してくれない）
- ・ 町内独居老人等の情報等の把握を行う（関係部署とも連携も含め）など、生活に困らないような対応等をしっかりと行ってほしい。（定期的に困っている住民を把握する仕組みづくりの構築も含め）
- ・ 高原町の景観や自然などを考慮すれば太陽光発電の設置が増えていくのは望ましくない。
- ・ 高速バスが停車しない状況を改善し、利便性向上と観光誘客につなげてほしい。